

小学生用

しょうがくせい せいかつ ちようさ  
小学生の生活についてのアンケート調査

ちようさ ごきょうりょく ねが  
調査へのご協力をお願いします

みなさんが学校や家庭での生活状況のなかで、抱えている悩みを相談  
できない、また受けられる支援が届かないといった課題に対応していくため、  
それらの解決に必要な支援策を検討しています。

そこで、みなさんが困っていることを直接教えていただきたく、この調査を  
行います。

ちようさ かん し  
【はじめに】この調査に関するお知らせ

この調査は、あなたの普段の生活や困りごと、家族のお世話に  
関する状況をお聞きし、どのような支援があった方がよいか  
考えるために行うものです。

調査では、お名前など個人を特定することはお尋ねしません。

答えにくい質問には答えなくても構いません。  
無理のない範囲で回答をお願いします。

この調査に回答することで、あなたが個人が特定されたり、あなたの  
家族に連絡が入ったりすることはありませんので、安心してお答え  
ください。

回収した調査票は厳重に取り扱い、集計後は速やかに処分  
します。

ちようさ かん と あ さい  
(この調査に関するお問い合わせ先) \_\_\_\_\_



令和5年7月

長崎県

ちがさきけん せいざくまきよく かつていいか  
長崎県子ども政策局子ども家庭課子ども・女性支援班  
電話：095-895-2442

調査の回答方法

- ◎ 答えは、問の後の「あてはまる番号」に○をつけてください。
- ◎ 「その他」に○をした時は、( )の中に自分で考えた答えを書いてください。
- ◎ (あてはまる番号すべてに○)と書いている間は、思ったところすべてに○を付けてください。

I. 基本情報

問1. あなたの住んでいる市町を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- 1. 長崎市 2. 佐世保市 3. 島原市 4. 諫早市 5. 大村市 6. 平戸市
- 7. 松浦市 8. 対馬市 9. 杵岐市 10. 五島市 11. 西海市 12. 雲仙市
- 13. 南島原市 14. 長与町 15. 時津町 16. 東彼杵町 17. 川棚町
- 18. 波佐見町 19. 小値賀町 20. 佐々町 21. 新上五島町 22. それ以外の市町村

問2. あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- 1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

問3. あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん 2. お父さん 3. おばあさん 4. おじいさん
- 5. 兄弟→( )人 6. 弟・妹→( )人 7. その他( )

問4. あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- 1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

II. ふだんの生活について

問5. あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

- ①欠席について(あてはまる番号一つに○)
- 1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する
- ②遅刻や早退について(あてはまる番号一つに○)
- 1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問6. 放課後、習い事などをしていますか。(あてはまる番号一つに○)

- 1. はい 2. いいえ

問7. 普段の学校生活などにおいて、以下の中にあてはまるものはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 授業に集中できないことが多い
- 2. 授業中に寝てしまうことが多い
- 3. 宿題ができていないことが多い
- 4. 持ち物の忘れ物が多い
- 5. 習い事を休むことが多い
- 6. 提出物を出すのが遅れることが多い
- 7. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- 8. 保健室で過ごすことが多い
- 9. 学校では一人で過ごすことが多い
- 10. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- 11. 特になし

問8. あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 友達のこと
- 2. 学校の成績のこと
- 3. 習い事のこと
- 4. 家族のこと
- 5. 生活や勉強に必要なお金のこと
- 6. 自分のために使える時間が少ないこと
- 7. その他( )
- 8. 特になし

問9. 問8で1~7のどれかに○をつけた人にお聞きます。○をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

- 1. いる 2. いない 3. 話はしたくない

III. 家庭や家族のことについて

問10. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、下のイラストのような、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまる番号一つに○)



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustrations: hami shugi

出典：一般社団法人日本ケアラー連盟

- 1. いる 2. いない⇒問21へ

問11. 問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

①あなたが世話をしている人(あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん ⇒ ②-a へ      2. お父さん ⇒ ②-a へ  
 3. おばあさん ⇒ ②-b へ      4. おじいさん ⇒ ②-b へ  
 5. きょうだい ⇒ ②-c へ      6. その他( ) ⇒ ②-d へ

※お世話をしている人が何人かいる場合には、それぞれについてお答えください。

②お世話を必要としている人の状況について教えてください。

②-a「お母さん、あるいはお父さん」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)      2. 介護(食事や身のお世話)が必要  
 3. 認知症      4. 身体障がい      5. 知的障がい  
 6. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 7. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている)  
 ※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 8. 6, 7以外の病気      9. 日本語が苦手  
 10. その他( )      11. わからない

②-b「おばあさん、あるいはおじいさん」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)      2. 介護(食事や身のお世話)が必要  
 3. 認知症      4. 身体障がい      5. 知的障がい  
 6. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 7. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている)  
 ※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 8. 6, 7以外の病気      9. 日本語が苦手  
 10. その他( )      11. わからない

②-c「きょうだい」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼い(赤ちゃん、幼稚園児、小学校低学年、など)  
 2. 介護(食事や身のお世話)が必要  
 3. 身体障がい      4. 知的障がい  
 5. 病気      6. 日本語が苦手  
 7. その他( )  
 8. わからない

②-d「その他」の人をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢(65歳以上)      2. 幼い(赤ちゃん、幼稚園児、小学校低学年、など)  
 3. 介護(食事や身のお世話)が必要      4. 認知症  
 5. 身体障がい      6. 知的障がい  
 7. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 8. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている)  
 ※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む  
 9. 7, 8以外の病気      10. 日本語が苦手  
 11. その他( )  
 12. わからない

③あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)      2. きょうだいのお世話や送り迎え  
 3. 入浴やトイレのお世話      4. 買い物や散歩と一緒にに行く  
 5. 病院へ一緒に行く      6. 話を聞く  
 7. 見守り      8. 通訳(日本語や手話など)  
 9. お金の管理      10. 菓の管理  
 11. その他( )

④あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

1. お母さん      2. お父さん      3. おばあさん      4. おじいさん      5. きょうだい      6. しんせきの人  
 7. 自分のみ      8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用      9. その他( )

⑤あなたは何歳からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、大体の年齢でかまいません)

( ) から ( ) まで

⑥あなたはどのくらいお世話していますか(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日      2. 週の3~5日      3. 週に1~2日      4. 1ヶ月に数日  
 5. その他( )

⑦あなたは平均何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月に一番長かった日の時間を教えてください)

1日( ) 時間くらい

問12. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 学校を休んでしまう
- 2. 遅刻や早退をしてしまう
- 3. 宿題など勉強する時間がない
- 4. 眠る時間がたりない
- 5. 友だちと遊ぶことができない
- 6. 習い事ができない
- 7. 自分の時間がとれない
- 8. その他( )
- 9. 特にない

問13. お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 体力の面で大変
- 2. 時間が足りない、時間の余裕がない
- 3. 気持ちの面で大変
- 4. 特に大変さは感じていない

問14. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. ある⇒問15へ
- 2. ない⇒問16へ

問15. 問14で「1.ある」と回答した人にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 家族(お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい)
- 2. しんせき(おじ、おばなど)
- 3. 友だち
- 4. 学校の先生(保健室の先生以外)
- 5. 保健室の先生
- 6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 7. 病院、医療、福祉サービスの人
- 8. 近所の人
- 9. SNS上での知り合い
- 10. その他( )

問16. 問14で「2.ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 相談するほど悩んではいないから
- 2. 誰に相談するのがよいかわからないから
- 3. 相談できる人がいないから
- 4. 家族のことを話したくないから
- 5. 相談しても何も変わらないから
- 6. その他( )

問17. 問14で「2.ない」と回答した人にお聞きします。あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいませんか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. いる
- 2. いない

問18. 学校や周りの大人にしてみたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 自分のことについて話を聞いてほしい
- 2. 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 4. 自分が行っているお世話を誰かに代わりに代わってほしい
- 5. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい
- ⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか( )
- 6. 自由に使える時間がほしい
- 7. 勉強を教えてほしい
- 8. お金の面で支援してほしい
- 9. その他( )
- 10. 特にない
- 11. わからない

⇒「1.自分のことについて話を聞いてほしい」、「2.家族のお世話について相談にのってほしい」

を選んだ人は問19へ

⇒それ以外の人は問20へ

問19. 問18で「1.自分のことについて話を聞いてほしい」、「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 直接会って
- 2. 電話
- 3. SNS
- ⇒そのうち最も希望するもの1つに○をしてください。
- 7. LINE(ライン)
- 4. Twitter(ツイッター)
- ウ. Instagram(インスタグラム)
- エ. TIKTok(ティックトック)
- オ. その他( )
- 4. 電子メール
- 5. その他( )

問20. 家族のお世話をしている子どもたちのために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてみたいこと(問18で書ききれなかったことなど)を自由に書いてください。

問21. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 聞いたことがあります
- 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

**質問は以上です。ご協力ありがとうございました。**

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。

ただ、お世話の負担が大きいと、気持ちや体力の面で大変に感じることもあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど、身近な人に相談してください。

ちゅうがくせい こうこうせい  
中学生・高校生の  
せいかつ 生活についてのアンケート調査  
ちようさ

ちようさ  
調査へのご協力をお願いします

みなさんが学校や家庭での生活状況のなかで、抱えている悩みを相談できず、また受けられる支援が届かないといった課題に対応していくため、それらの解決に必要な支援策を検討しています。

そこで、みなさんが困っていることを直接教えていただきたく、この調査を行います。

【はじめに】この調査に関するお知らせ

この調査は、あなたの普段の生活や困りごと、家族のお話に関する状況を聞き、どのような支援があった方がよいか考えるために行うものです。

調査では、お名前など個人を特定することはお尋ねしません。

答えにくい質問には答えなくても構いません。  
無理のない範囲で回答をお願いします。

この調査に回答することで、あなたが特定されたり、あなたの家族に連絡が入ったりすることはありませんので、安心してお答えください。

回収した調査票は厳重に取り扱い、集計後は速やかに破棄します。

集計結果は、県のホームページなどで公表するとともに、施策推進のために市町単位で集計結果を市町と共有しますが、御協力いただいた方が特定されることはありませんので、御安心ください。

（この調査に関するお問い合わせ先）

ながさきけん せいさくきょく かにてい か  
長崎県子ども政策局 子ども家庭課 ともも・女性支援班  
電話：095-895-2442

令和5年7月



長崎県

調査の回答方法

- ◎答えは、問の後の当てはまる番号に○をつけてください。
◎「その他」に○をした時は、( )の中に自分で考えた答えを書いてください。
◎(あてはまる番号すべてに○)と書いてある問は、思ったところすべてに○を付けてください。

I. 基本情報

問1. あなたの住んでいる市町を教えてください。(あてはまる番号1つに○)
1. 長崎市 2. 佐世保市 3. 島原市 4. 諫早市 5. 大村市 6. 平戸市
7. 松浦市 8. 対馬市 9. 壱岐市 10. 五島市 11. 西海市 12. 壱岐市
13. 南島原市 14. 長与町 15. 時津町 16. 東彼杵町 17. 川棚町 18. 波佐良町
19. 小値賀町 20. 佐々町 21. 新上五島町 22. それ以外の市町村

問2. あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)
1. 中学生 2. 高校生

問3. あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)
1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

問4. 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)
1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
5. 兄弟 → ( )人 6. 弟・妹 → ( )人 7. その他 ( )

問5. あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)
1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

II. あなたの生活について

問6. あなたは学校を欠席したり遅刻や早退をしたりすることがありますか。(あてはまる番号1つに○)
①欠席について(あてはまる番号1つに○)
1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する
②遅刻や早退について(あてはまる番号1つに○)
1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問7. 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)
1. はい 2. いいえ

問8. 普段の学校生活などにおいて、以下の中にあてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に集中できないことが多い
2. 授業中に寝てしまうことが多い
3. 宿題ができていないことが多い
4. 持ち物の忘れ物が多い
5. 部活動や習い事を休むことが多い
6. 提出物を出すのが遅れることが多い
7. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
8. 保健室で過ごすことが多い
9. 学校では一人で過ごすことが多い
10. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
11. 特にならない

問9. あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友達のこと 2. 学業成績のこと 3. 進路や将来のこと
4. 部活動のこと 5. 学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと
6. 塾(通信含む)や習い事ができない 7. 家庭の経済的状況のこと
8. 自分と家族との関係のこと 9. 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)
10. 病気や障がいのある家族のこと 11. 自分のために使える時間が少ない 12. 将来のこと
13. その他( ) 14. 特にならない

問10. 問9で1~13のどれかに○をつけた人にお聞きします。○をつけた欄みについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いたりしてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない 3. 相談や話はしたくない

III. 家庭や家族のことについて

問11. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、下記イラストのような、ぶつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまる番号1つに○)



©一般社団法人日本ケア・連盟 / Illustration: Isumi Shige

1. いる 2. いない ⇒ 問22へ

問12. 問11で「1. いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

①あなたがお世話をしている人(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 母親 ⇒ ②-aへ
- 2. 父親 ⇒ ②-bへ
- 3. 祖母 ⇒ ②-bへ
- 4. 祖父 ⇒ ②-bへ
- 5. きょうだい ⇒ ②-cへ
- 6. その他( ) ⇒ ②-dへ

※お世話をしている人が何人かいる場合には、それぞれについてお答えください。

②お世話を必要としている人の状況について教えてください。

②-a「母親、あるいは父親」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢(65歳以上)
- 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
- 3. 認知症
- 4. 身体障がい
- 5. 知的障がい
- 6. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 7. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 8. 6, 7以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他( )
- 11. わからない

②-b「祖母、あるいは祖父」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢(65歳以上)
- 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
- 3. 認知症
- 4. 身体障がい
- 5. 知的障がい
- 6. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 7. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 8. 6, 7以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他( )
- 11. わからない

②-c「きょうだい」をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 幼い
- 2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
- 3. 身体障がい
- 4. 知的障がい
- 5. 病気
- 6. 日本語が苦手
- 7. その他( )
- 8. わからない

②-d「その他」の人をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 高齢(65歳以上)
- 2. 幼い
- 3. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
- 4. 認知症
- 5. 身体障がい
- 6. 知的障がい
- 7. こころの病気(うつ病など)※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 8. 依存症(お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題を抱えている) 9. 7, 8以外の病気
- ※病院には行っていないが、その病気の可能性がある場合を含む
- 10. 日本語が苦手
- 11. その他( )
- 12. わからない

③あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- 1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)
- 2. きょうだいのお世話や送り迎え
- 3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)
- 4. 外出の付き添い(買い物、散歩など)
- 5. 通院の付き添い
- 6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
- 7. 見守り
- 8. 通訳(日本語や手話など)
- 9. 金銭管理
- 10. 薬の管理
- 11. その他( )

④あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. 親戚の人
- 7. 自分のみ
- 8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用
- 9. その他( )

⑤あなたは何歳からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、大体の年齢でかまいません)

( )才から

⑥あなたはどのくらいお世話をしていますか(あてはまる番号1つに○)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週の3~5日
- 3. 週に1~2日
- 4. 1ヶ月に数日
- 5. その他( )

⑦あなたは平均何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1ヶ月で一番多かった日の時間を教えてください)

1日( )時間くらい

問13. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 学校に行きたくても学校を遅刻・早退してしまふ
- 2. どうしても学校を遅刻・早退してしまふ
- 3. 宿題をする時間が勉強する時間が取れない
- 4. 睡眠が十分に取れない
- 5. 友人と遊ぶことができない
- 6. 部活動や習い事ができない、もしくは諦めざるを得なかった
- 7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
- 8. 自分の時間が取れない
- 9. その他( )
- 10. 特にない



問14. お世話をすることを大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 体力の面で大変
- 2. 時間の余裕がない
- 3. 気持ちの面で大変
- 4. 特に大変さは感じていない

問15. あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. ある ⇒ 問16へ
- 2. ない ⇒ 問17へ

問16. 問15で「1. ある」と回答した人にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 家族(父親、母親、祖父、祖母、きょうだい)
- 2. 親戚(おじ、おばなど)
- 3. 友人
- 4. 学校の先生(保健室の先生以外)
- 5. 保健室の先生
- 6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- 7. 医師や看護師、その他病院の人
- 8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
- 9. 役所や保健センターの人
- 10. 近所の人
- 11. SNS上での知り合い
- 12. その他( )

問17. 問15で「2. ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 相談するほど悩みではないから
- 2. 家族外の人と相談するようないから
- 3. 誰に相談するのがよいかわからないから
- 4. 相談できる人が身近にいないから
- 5. 家族のこのため話にくい
- 6. 家族のことを知られたくないから
- 7. 家族に対して偏見を持たれたくないから
- 8. 相談しても何も変わらないから
- 9. その他( )

問18. 問15で「2. ない」と回答した人にお聞きします。あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいませんか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. いる
- 2. いない

問19. 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- 2. 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 4. 自分が行っているお世話をすべてを代わりにしてくれる人やサービスがほしい
- 5. 自分が行っているお世話の一部を代わりにしてくれる人やサービスがほしい  
⇒ 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか( )
- 6. 自由に使える時間がほしい
- 7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- 8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
- 9. 家庭への経済的な支援
- 10. わからない
- 11. その他( )
- 12. 特にない

⇒「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」を選んだ人は問20へ  
⇒それ以外の人は問21へ

問20. 問19で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 直接会って
  - 2. 電話
  - 3. SNS
- ⇒そのうち最も希望するもの1つに○をしてください。
- ア. LINE (ライン)
  - イ. Twitter (ツイッター)
  - ウ. Instagram (インスタグラム)
  - エ. TikTok (ティックトック)
  - オ. その他( )
  - カ. 電子メール
  - キ. その他( )

問21. 家族のお世話をしている子どもへも支援を広げていくために必要だと感じることや要望等、ご自由にお書きください。

( )

問22. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 聞いたことがあります、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
- 3. 聞いたことはない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。  
ただ、お世話の負担が大きいと、気持ちや体力の面で大変に感じることも  
あるかもしれません。  
あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配  
なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクール  
カウンセラーなど、身近な人に相談してください。

# 長 崎 県 ヤングケアラー実態調査 概 要 版

令和5年10月

## I 調査概要

### 1 調査の目的

本調査は、ヤングケアラーのケアの状況、生活への影響、困りごと、支援ニーズ等を把握し、支援を必要としているヤングケアラーの早期発見や適切な支援につなげるための方策を検討するとともに、ヤングケアラー支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の実施方法

	中高生調査	小学生調査
1 調査対象者と抽出方法	県内の公立中学校2年生、公立の全日制及び定時制高校2年生	県内の公立小学校6年生
2 調査方法	各学校に調査票を配布し、記入後、まとめて回収	
3 調査期間	令和5年6月30日～8月1日	令和5年6月30日～8月1日
4 回収状況	配布数 18,346 回収数 14,437 回収率 78.7%	配布数 11,344 回収数 9,226 回収率 81.3%

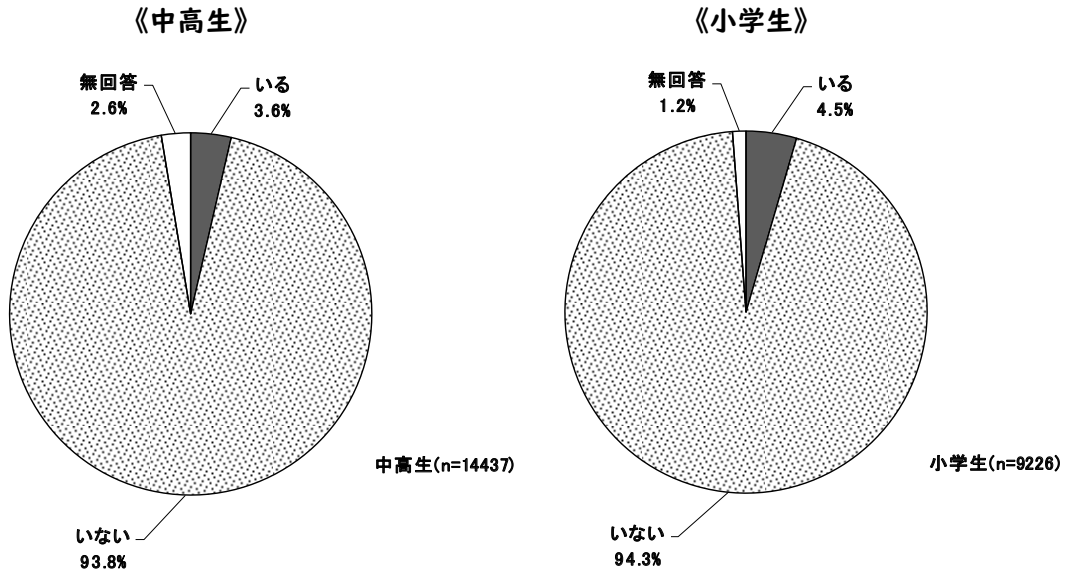
### 3 調査結果の処理

- 回答比率は、百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- 図に表示された「n」は、回答者数を示している。

## II 調査結果

### 1 家族の中にお世話をしている人の有無

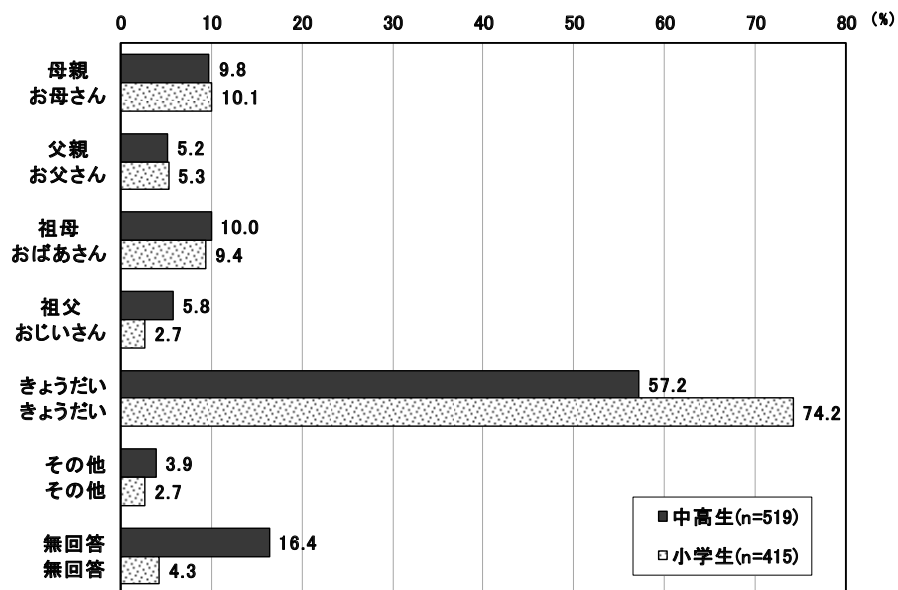
家族の中にあなたがお世話をしている人がいるかどうかをみると、「いる」は中高生では3.6%、小学生では4.5%となっている。



### 2 お世話をしている人

お世話をしている人としては、「きょうだい」が中高生では57.2%、小学生では74.2%と最も多くなっている。次いで「祖母」と「母親」が1割前後となっている。

お世話している人の半数以上は「きょうだい」であり、小学生では7割を超えている。

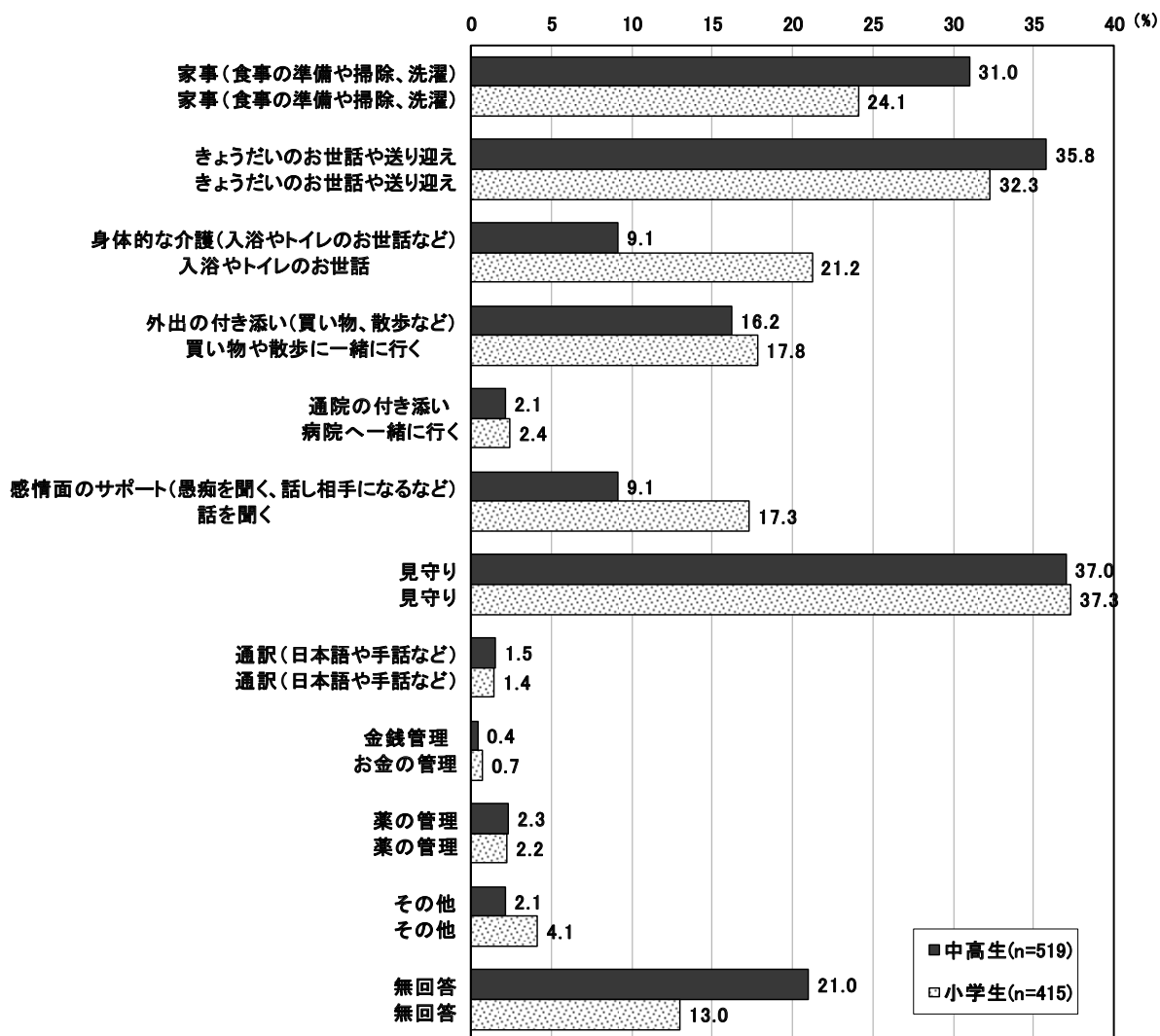


(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

### 3 お世話の種類

どのようなお世話をしているかをみると、中高生、小学生とも「見守り」が最も多く、「きょうだいのお世話や送り迎え」、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」となっている。

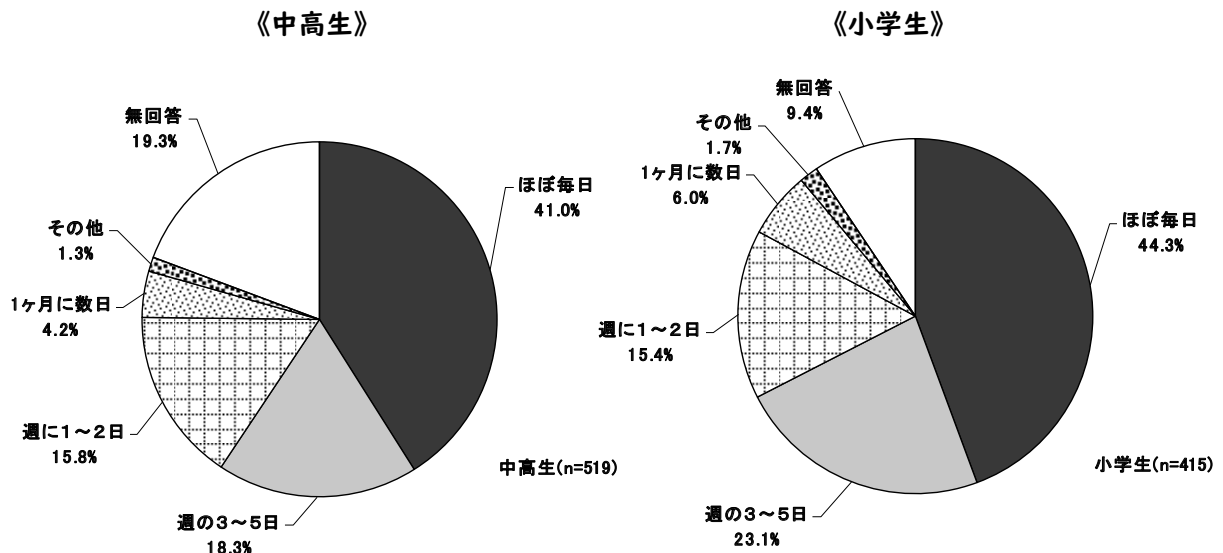
次いで、中高生は「外出時の付き添い」、小学生は「入浴やトイレのお世話」となっている。また、「感情面でのサポート（話を聞く）」も中高生と小学生の差が大きい。



(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

#### 4 お世話する頻度

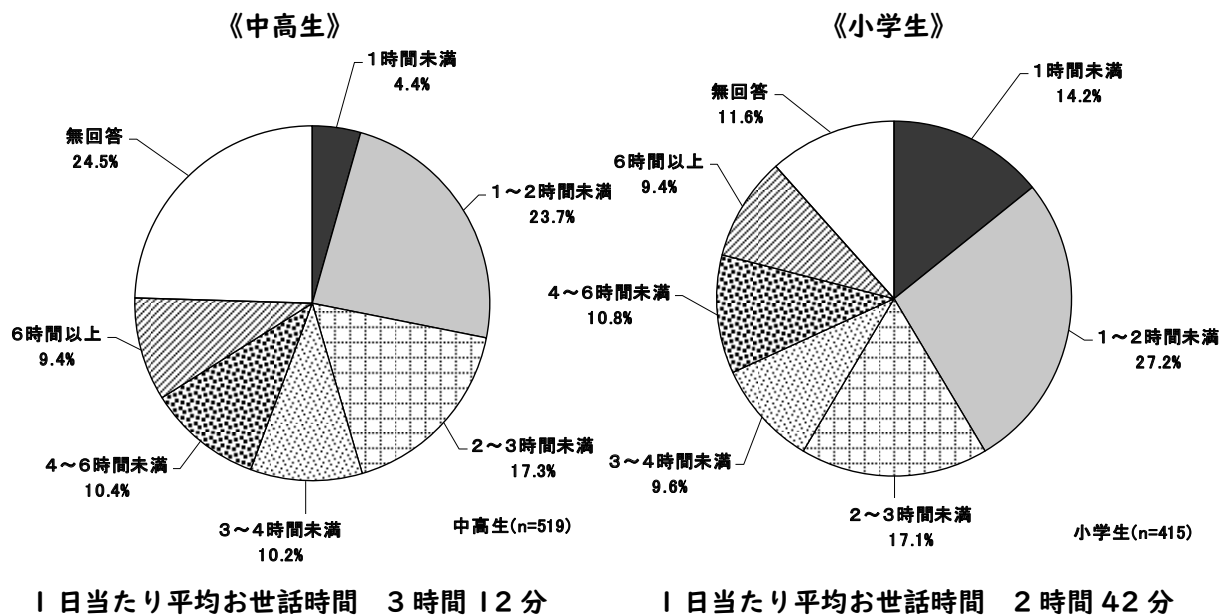
お世話をする頻度としては、中高生、小学生とも「ほぼ毎日」が最も多く、次いで「週の3～5日」、「週に1～2日」（15.8％）となっている。週に1日以上割合は中高生で75.1％、小学生で82.8％となっている。



#### 5 1日あたり平均お世話時間

お世話をする平均時間としては、中高生、小学生とも「1～2時間未満」が最も多く、次いで「2～3時間未満」となっている。「1時間未満」は中高生では4.4％と少ないが、小学生では14.2％と多くなっている。

1日あたりのお世話時間をみると、中高生が3時間12分、小学生が2時間42分、中高生の方が30分長くなっている。



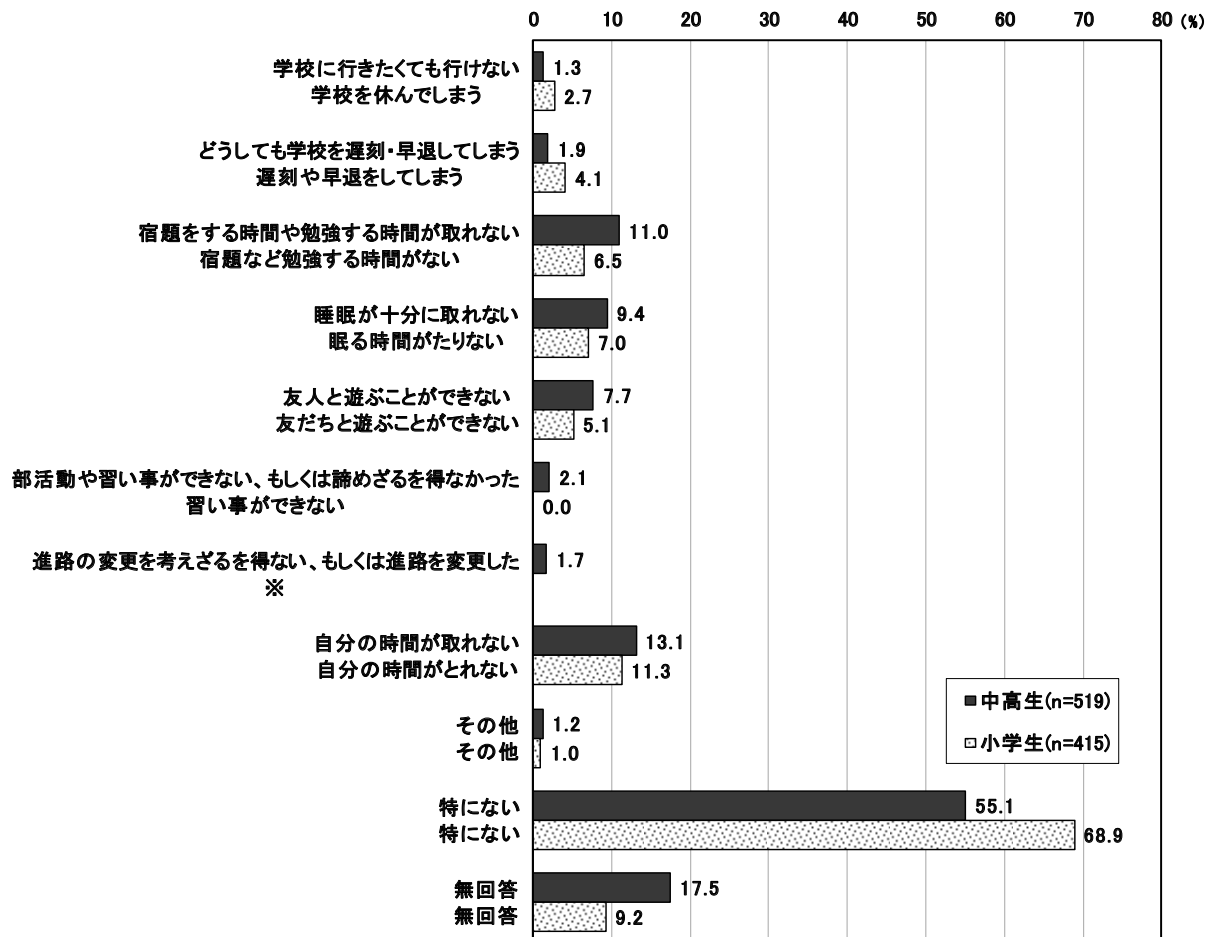
1日あたり平均お世話時間 3時間12分

1日あたり平均お世話時間 2時間42分

## 6 お世話をしたことでの経験

お世話をしたことにより経験したこととしては、中高生、小学生とも「特にない」が最も多くなっている。

具体的な経験としては、中高生、小学生とも「自分の時間が取れない」が最も多く、次いで「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」、「友人と遊ぶことができない」が多くなっており、中高生と小学生で大きな差はみられない。



(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

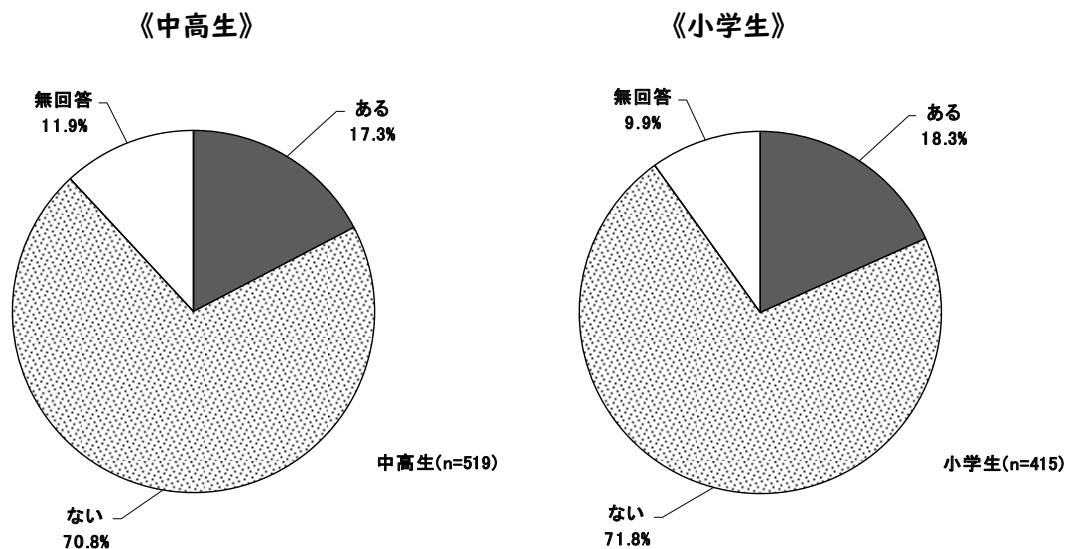
(注2) ※印は小学生には提示していない。

## 7 お世話していることの相談について

### (1) 相談経験

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談した経験としては、「ある」は中高生で17.3%、小学生で18.3%となっており、大きな差はみられない。

ただ、中高別にみると、中学生は14.3%であるが、高校生では23.1%と多くなっており、成長とともにお世話の負担感が強くなっているものと推測される。

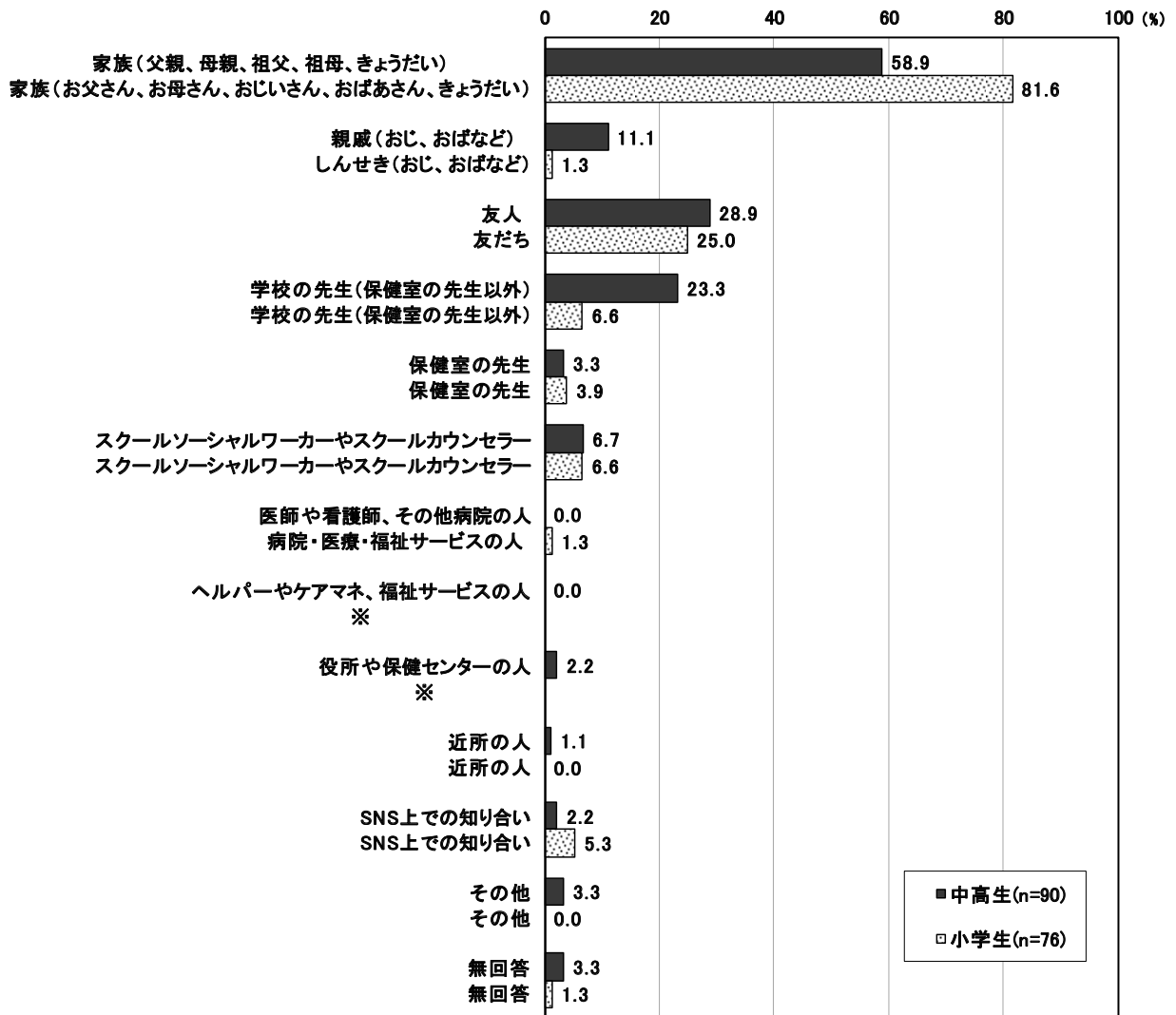




## (2) 相談相手

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談した経験のある人が相談とした相手としては、中高生、小学生とも「家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい）」が最も多くなっている。ただ、小学生では81.6%あるが、中高生では58.9%と小学生よりも22.7ポイント少なくなっている。2番目に多い相談相手は、中高生、小学生と「友人」となっている。

また、中高生では「家族」が少なくなる分、「学校の先生（保健室の先生以外）」や「親戚（おじ、おばなど）」が多くなっている。

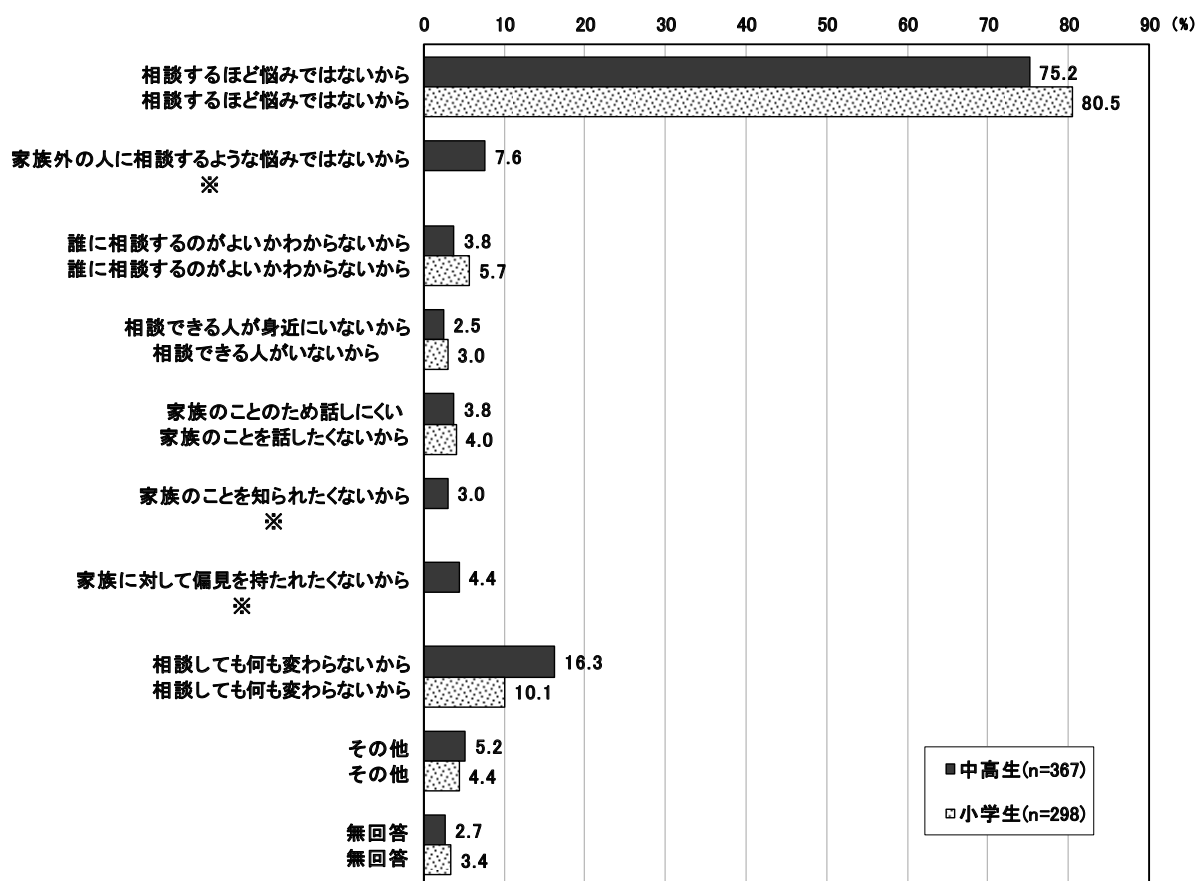


(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

(注2) ※印は小学生には提示していない。

### (3) 相談したことがない理由

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談した経験のない理由としては、中高生、小学生とも「相談するほど悩みではないから」が圧倒的に多く、次いで「相談しても何も変わらないから」となっている。加えて、中高生では「家族外の人に相談するような悩みではないから」※が、小学生では「相談できる人が身近にいないから」が、それぞれ多く選ばれている。



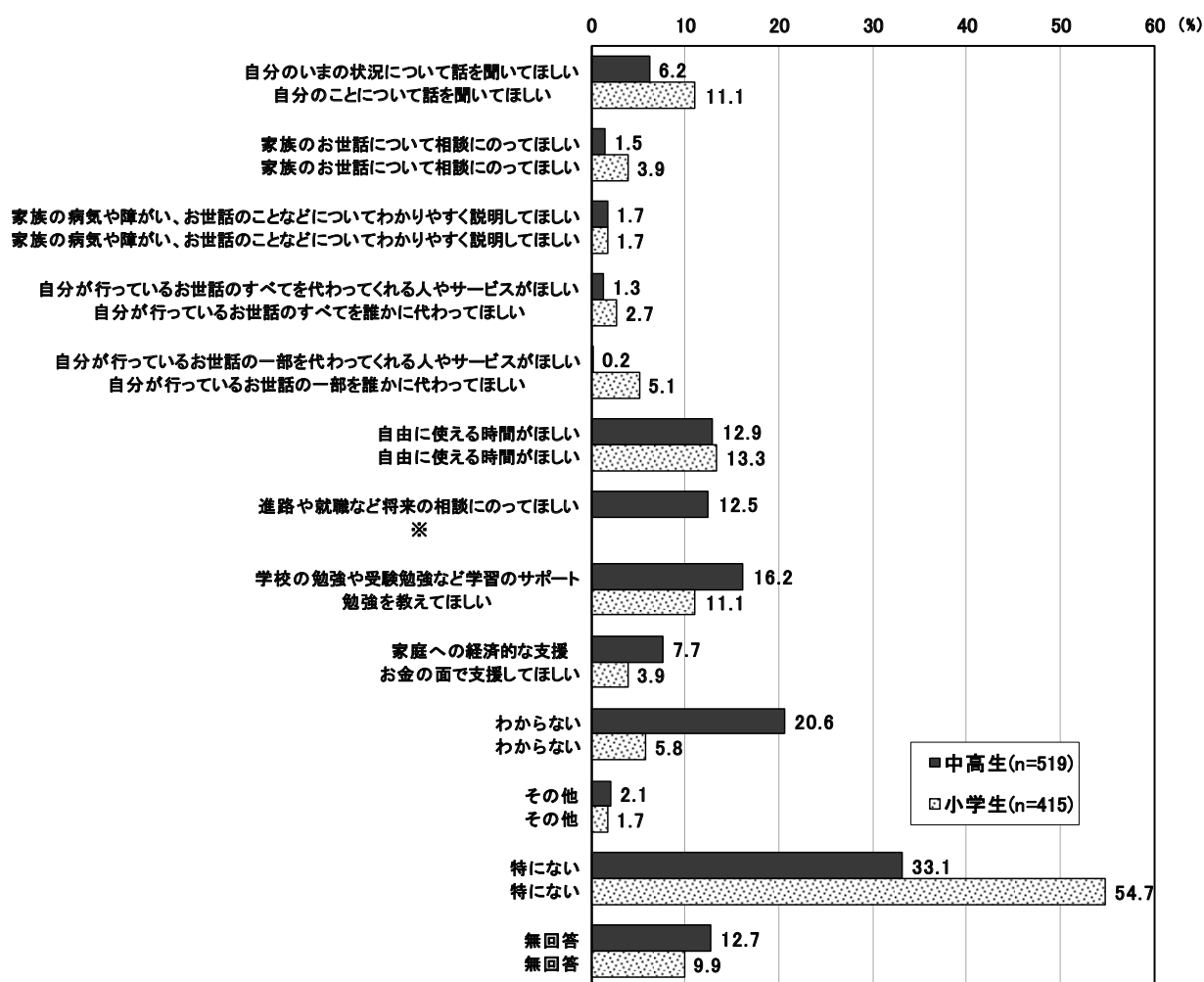
(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

(注2) ※印は小学生には提示していない。

## 8 助けてほしいことや必要としている支援について

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援としては、中高生、小学生とも「特にない」が最も多く、小学生では半数を超えている。中高生では「わからない」が2番目に多くなっている。

必要な支援の内容としては、中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、小学生では「自由に使える時間がほしい」、「自分ことについて話を聞いてほしい」、「勉強を教えてほしい」となっており、中高生と小学生で必要としている支援に差がみられる。



(注1) 上段: 中高生の選択肢 下段: 小学生の選択肢

(注2) ※印は小学生には提示していない。

## 9 ヤングケアラーという言葉の認知状況

ヤングケアラーという言葉については、「聞いたことがあり、内容も知っている」は中高生で26.1%、小学生で12.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は中高生で21.8%、小学生で17.6%となっている。

「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、よく知らない」を合計した認知率は、中高生が47.9%、小学生が30.1%となっている。

